

成人向

淫墮の罟



Presented by

KUSARI



……あの男に……
注入された……薬



魔力の……流れを……
完全に……
狂わされて……いる



ああ……あつ……
か……身体が熱い……
震えが……
止まらな……い

くっ……はあ……あ
まず……い
このままじゃ……
私……っ

……はあ……あ

ああ……っ



く……っ

うう……っ
……はあ……ああ
はあ……ああ

……だめ……しつかり
しないと……っ
この……程度……で

……弱音を……吐いて
いられ……ないッ

……あ……あ

ん……くう……



私の…魔力が
枯渇していくのを
感じる…ッ



はあ…あッ

あッ…はあ
うあああ…あッ

うっ…く



いずれ…魔力が
…尽きた時に
私は…

イッ…



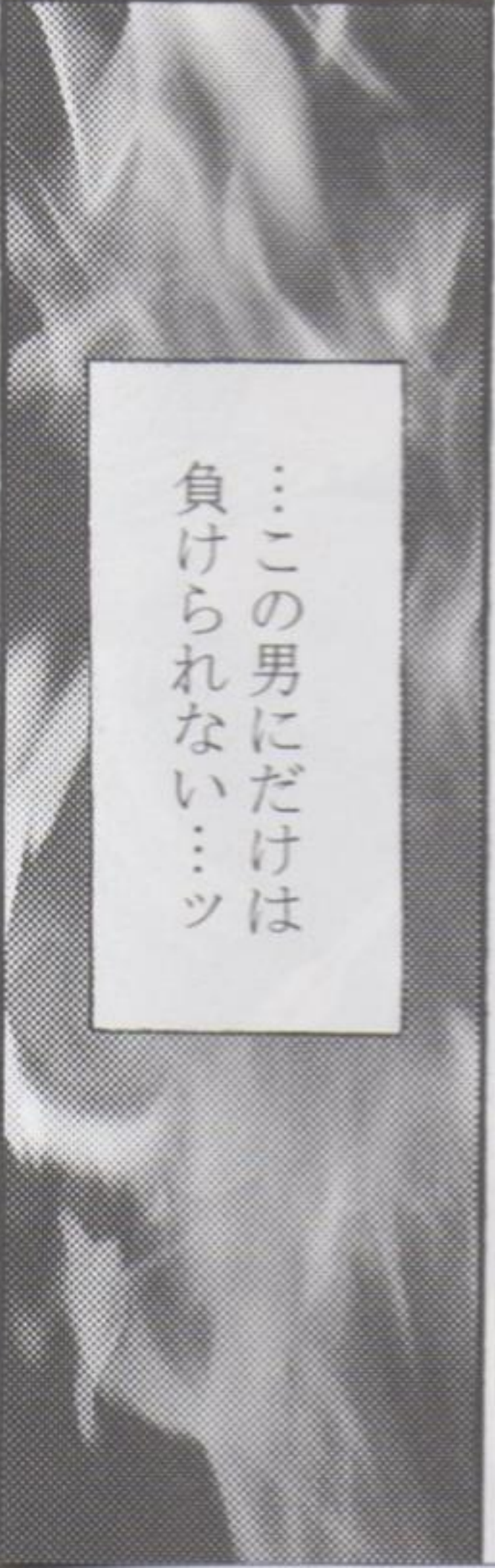
頭が…壊れそう
こ…この…激しい
頭痛と…嘔吐…

…んっ

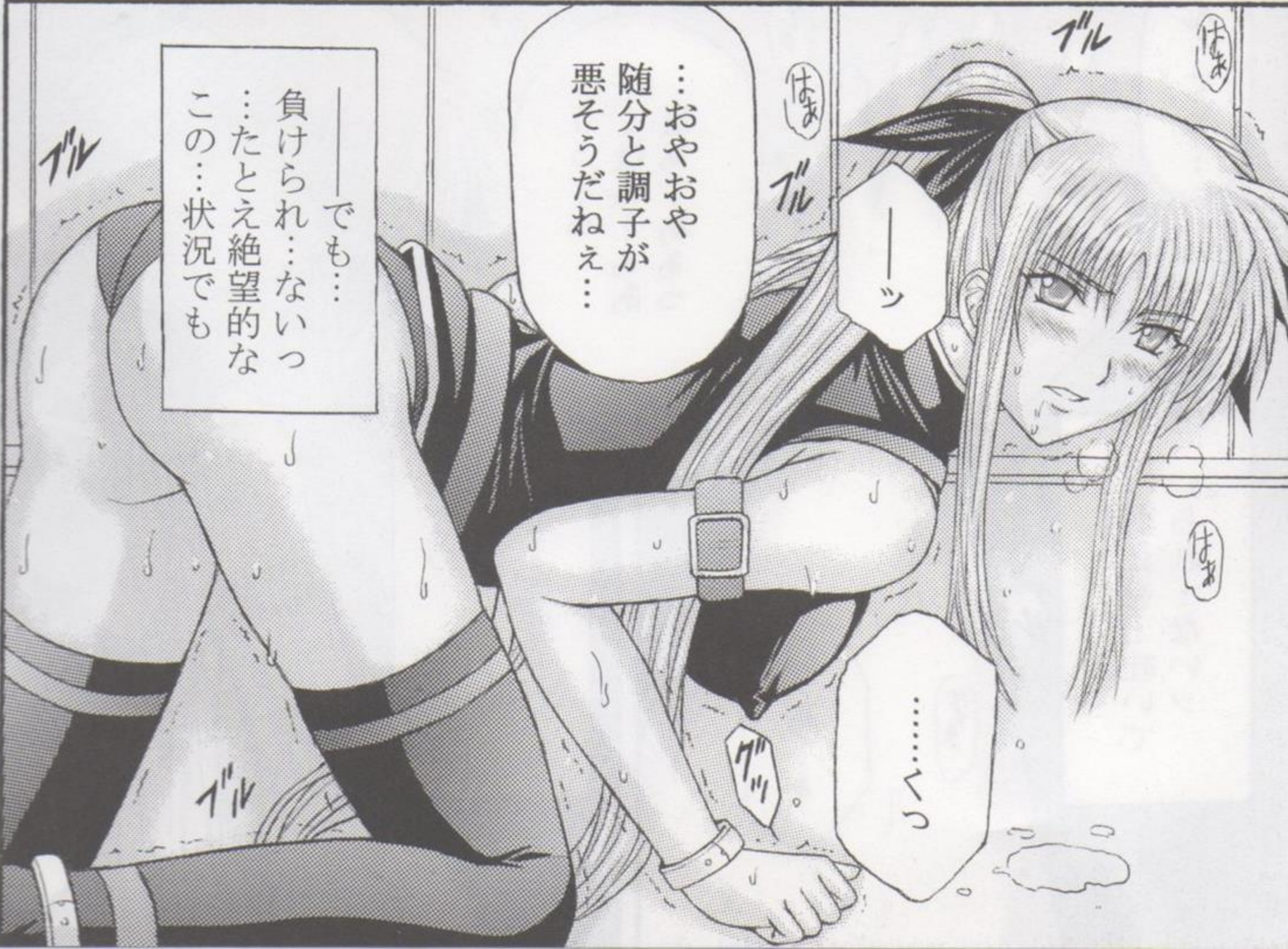
んう…っ

身体が…悲鳴を
あげている…

うう…



…この男にだけは
負けられない…ッ



…おやおや
随分と調子が
悪そうだねえ…

でも…
負けられ…ないっ
…たとえ絶望的な
この…状況でも

ッ

…くっ

…次元犯罪者……
ジェイル……
スカリエツテイ……ツ

ククク……
どうやら相当効いてる
ようだねえ……あの薬は

……しかし
流石と言うべきかな
あの薬を投与されて
まだ眼は死んでない

3時間前とは違って
かなり顔色が良くない
じゃないか……フェイト
テストロッサ執務官

私への怒りに満ちた
その眼……いいねえ
これは凄く楽しませて
くれそうだ……

——それから数日間…私はこの男の研究素材として
いくつかの薬を投与され肉体を改造されていった……

淫墮の毘

この男の玩具として痴態を晒し実験される日々……
朦朧とする意識の中で自分の肉体が徐々に変化
していく事に気付き深い不安が私を覆った……

…良い傾向だ
当初と比べて
随分と大人しく
なったものだな

……

もはや君の肉体が
数日前とは全くの
別物だということ
は理解しているだろ

私が与えたのは
女として最高の
悦びを味わえる
肉体だよ…

この数日間の研究で
身体中のありと
あらゆるデータを
とることができた

肉体改造による
身体の負荷や損傷も
ほとんど見られないし
順調そのものだ

もったもそれは
君にとつて
大いに不本意だと
思うがね

今はまだその
幸福を理解
できないだろうが

あっあああ！

フェイト・テスタロッサ
君は本当に素晴らしい…
私の研究に相応しい
素材だよ

はあ…ああ

ああッ

あはあッ

いずれ分かる時が
来るさ…

最高の作品を
仕上げることに
できそうだ

うあっ

ああ…ッ

く…ああっ
はああ…ん

ああんっ

気持ちいいだろう？
君はもう脳髄まで
快楽に浸りきった
中毒状態だ

ああ

あはあっ！

如何に抗おうと
抵抗の声はすぐに
喜悦の言葉と
なるだろう

肉体改造は問題なく
完了した…
あとは精神面の墮落
…快楽への嫌悪感
かなり薄らいでいる

これから暫らくは
母乳の採取と
膣内への薬物投与…

もう少しの間
肉体に快楽を
植え付ける必要が
あるな…

だ…めえ
ああああっ

ああッ

せいぜい女の
悦びを堪能する
ことだな

搾乳する際の快楽と
クリトリスへの刺激
…薬物注入により
感覚を増大させる

ああ…だめえ
あ…あああア

長時間の肉体調教
により仕上がりは
上々といえる

ひああ

悦楽による思考の
停止…甘美な深い
快楽への欲求

あはああっ

何がだめなんだ？
快楽に溺れることは
悪い事ではないよ
フェイト執務官

あああっ

あ…ああ

喘ぎ声も私好みの
良い響きになって
いるじゃないか

魔力は尽き心は
防壁を失っている
自尊心さえもはや
尽きている状態…

あっ…はあ
ああああア

ひあああ

…あとは色欲の
虜として深淵まで
墮とすだけだ

魔力の枯渇により
バリアジャケットも
消失…裸体で喘ぐ
その姿は屈辱かね？

ああ

ああん

ククク…いや
もうそんな
羞恥心さえ失って
しまったかな

更なる恥辱を与える
ために私は彼女に
新しい玩具を与えた

…どうだい？
私からの贈り物は
気に入って貰えた
だろうか

はあ

卑猥と呼ぶに
相応しい調教器具

あん…あア

ああッ

抗う必要は無い
ただ快樂に身を
任せればいい

二穴責めの快感に
今の彼女は成す
術が無いだろう…

あ…いやあ
あああ…

快感を嫌悪せずに
受けいれる…
…誰も君を
責めたりはしない

ああ…っ
はあああッ

ああ…あ

暫らくはそれが
君の恋人だ…
仲良くしてくれよ

あはああ

はあ

ああ…ス…
スゴ…イ

ああッ

実に良い表情だ
その淫靡な顔は
とても美しい…

あ…あ…あ…

彼女の淫狼な
姿を観て私は
少なからず
興奮をしている

私は今まで君を
研究素材として
見てきた訳だが…

虚ろな眼だが
まだ私への怒りを
宿しているのかね？

私もやはり雄だと
いうことだ…この
女を支配する事に
高揚感を覚えるとは

ククク…君を私の
牝奴隷として飼うのも
悪くはないな…

あッ

んう…あ…
あく…んんッ

あん

はあ…ああ
あ…あッ

あああ

あはあ…ッ
ああああん

あッん

ひああ

はあ

長時間の休息は
私に自分自身を
取り戻させた：

ここ数日の休養で
正気を取り戻す
事はできたかね？

人形と遊んでも
面白みが無いし
興奮めしてしまう

…黙…れっ

さあ…まだ誇りが
あるなら私に抗って
みせてくれないか

鮮明な意識の中で
この男への怒りは
私を奮い立たせ再度
抗う力を与えていた

フフ…それは
大丈夫よねえ
フェイトさん♪

…このクアットロも
君と遊びたいらしく
てね…今回参加
させる事にしたよ

良い刺激になる…
3人で楽しむのも
悪くないだろう

ええ…私も参加
させて頂いてとて
も感謝してますわ
ドクター！

あなたは強い女性
だもの…死んでも
恥は晒さないわよ

こんな楽しい時間
を共有する事が
できるなんて

最高です…♪

ああん

：数分前の決意は露と消え：私は彼の前で淫らな痴態を晒していた

あんっ

あアッ

あはあっ

ククク：良い締め付けだ君の膣内は最高に気持ちいいぞ：っ

軽蔑し憎む男に弄ばれ犯される気分はどうかかな？

ああアッ

はあ

もはや恥も外聞も無いかのように私の喘ぎ声が部屋に響き渡る：

怒りよりも悦びの方が大きいことは下の濡れ具合でよく分かるがね：

ひ…ああっ

だ…だめえそこ…あアッ

ああん

：快感が身体中を駆け巡り私を壊す

はあ

あああ

さあ…今度は私が
その淫乱な身体を
可愛がって
差し上げるわ♥

膣奥までじっくり
掻き回してあげる
から…牝犬のように
喘いで頂戴ね〜

嫌…ッ!

同性からの一方的な
猥褻行為に
私は男に犯される
のとはまた違った
恐怖を感じていた…

同じ女として彼女に
弄ばれる屈辱や恐怖…
だけどそれもすぐに
消えて無くなる…

あらあら…こんなに
節操無く愛液を
撒き散らして
みっともないわねえ

はぁ

はぁ

あぁ

あ…いやあ
あああ…ん

あん

はぁ

あアん

ひあぁ

はぁ

あぁ…あッ

あぁっ

あア

そう…もつと
奥まで丁寧
に
啜え込むんだ

ねえ…ドクターの
ペニスは美味しい
のかしらあ？

ヴァギナを突か
れて喘ぎ声をあげ
跪いてペニスを
啜える無様な姿…

…快樂の中で己の
意思の弱さに失望し
私はもう淫欲から
逃れられない事実を
認めていた…

ウフフ…♪
本当にはしたない
淫乱な牝奴隷に
なっちゃったわねえ

たとえ何度正気に
戻ったとしても…
私はすぐに
沈められてしまう

あぁっ

あ…はぁっ

あっ…はぁっ
ああぁんッ

墮落への恐怖と
悦楽への欲求…

薬物投与に日々の
肉体調教…魔力枯渇
による自信喪失…
快楽への墮落…

…もう少し抗う
かと思ったが
意外に墮ちるのが
早かったな…

あとは過去への
未練を捨てさせる
だけだ

なのは…弱い私を
許してください…
私はもう…

フフ…この女が
ドクターに服従する
ようになれば…

そうすれば私に奉仕
するためだけに生きる
肉奴隷となる…

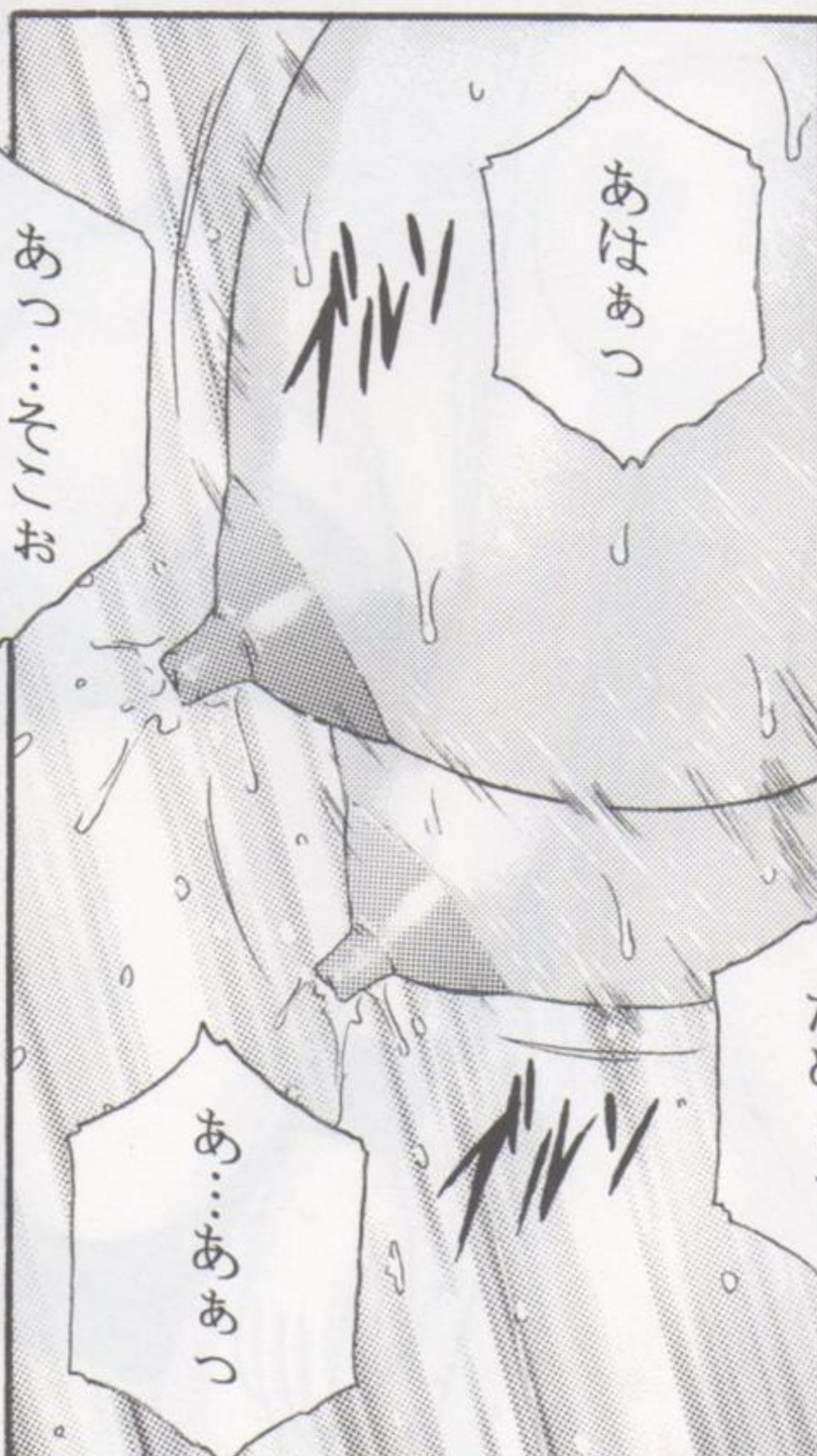
昔の仲間と殺しあう
姿が見れるのねえ
ああ…最高お♥

しかし心から私に
服従させるには
まだ暫らく時間が
必要だな…

光から聞へ
女はどこまでも
堕ちていく…

毎日のように男と
身体を重ね卑猥に
乱れ喘ぐ淫乱な女…

そこにはあの正義
に満ちた精悍な
面影は既に無い…





あアッ

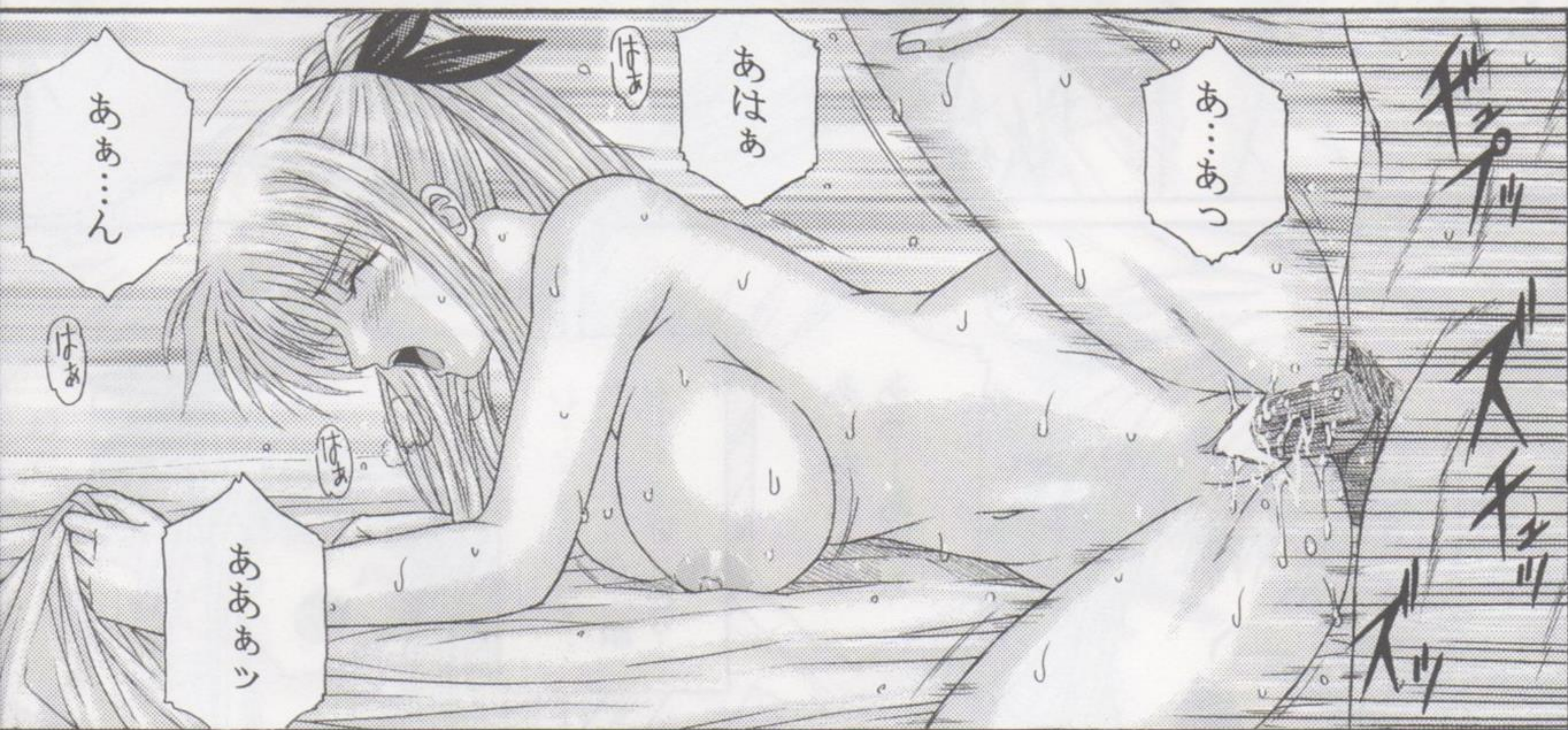
あんっ

あぁっ

はぁ

はぁ

ククク…フエイト
今日は一段と
喘ぎ声が
激しいようだな



あはぁ

あ…ぁっ

あぁ…ん

はぁ

あぁぁっ



昨日は忙しくて
あまり君の相手を
してやれなかった
からな…

はぁ

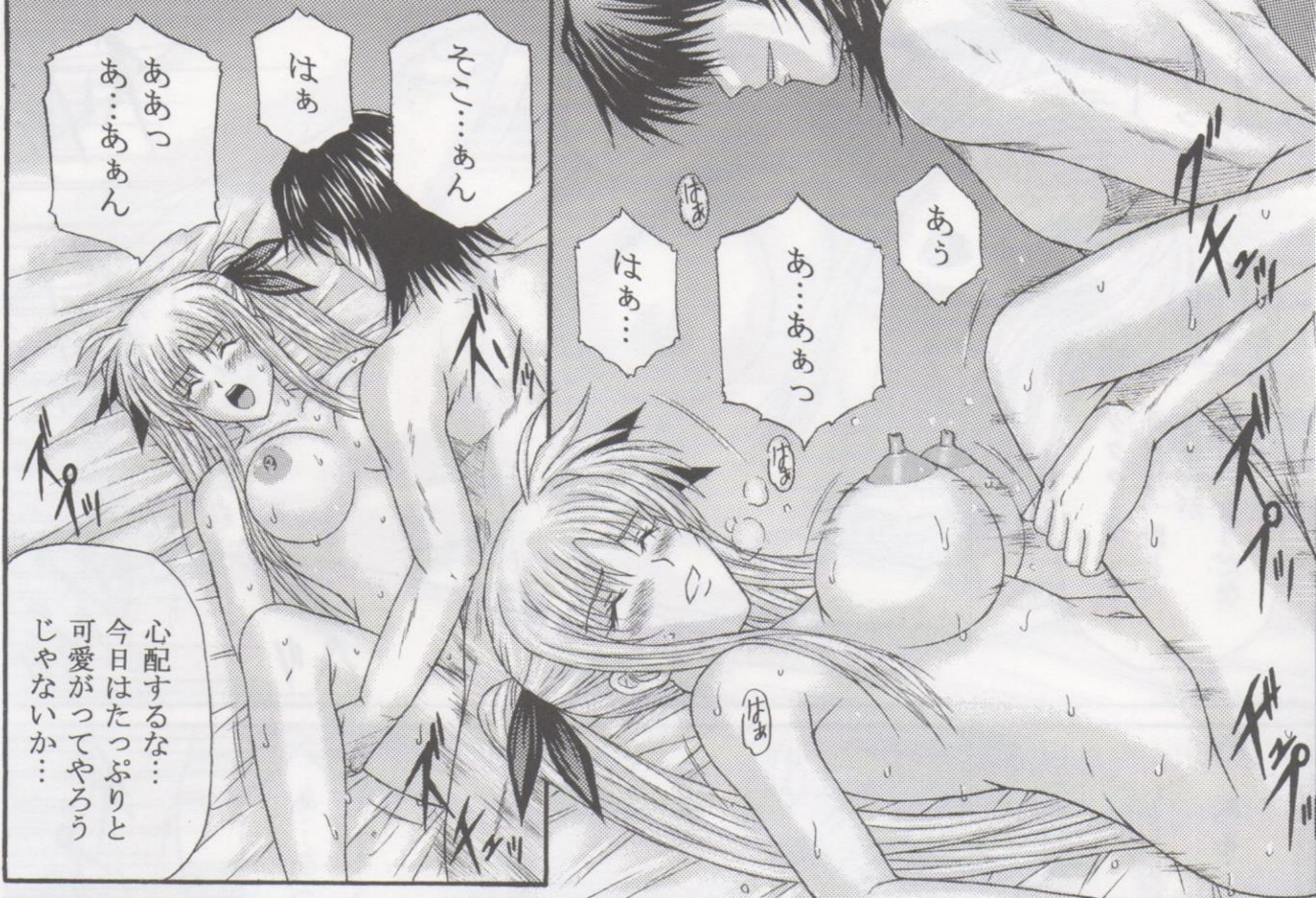
はぁ…

あ…

その顔を見れば
どれだけ物足り
なかつたのが
よく分かる

はぁ

……



あぁっ
あぁぁん

はぁ

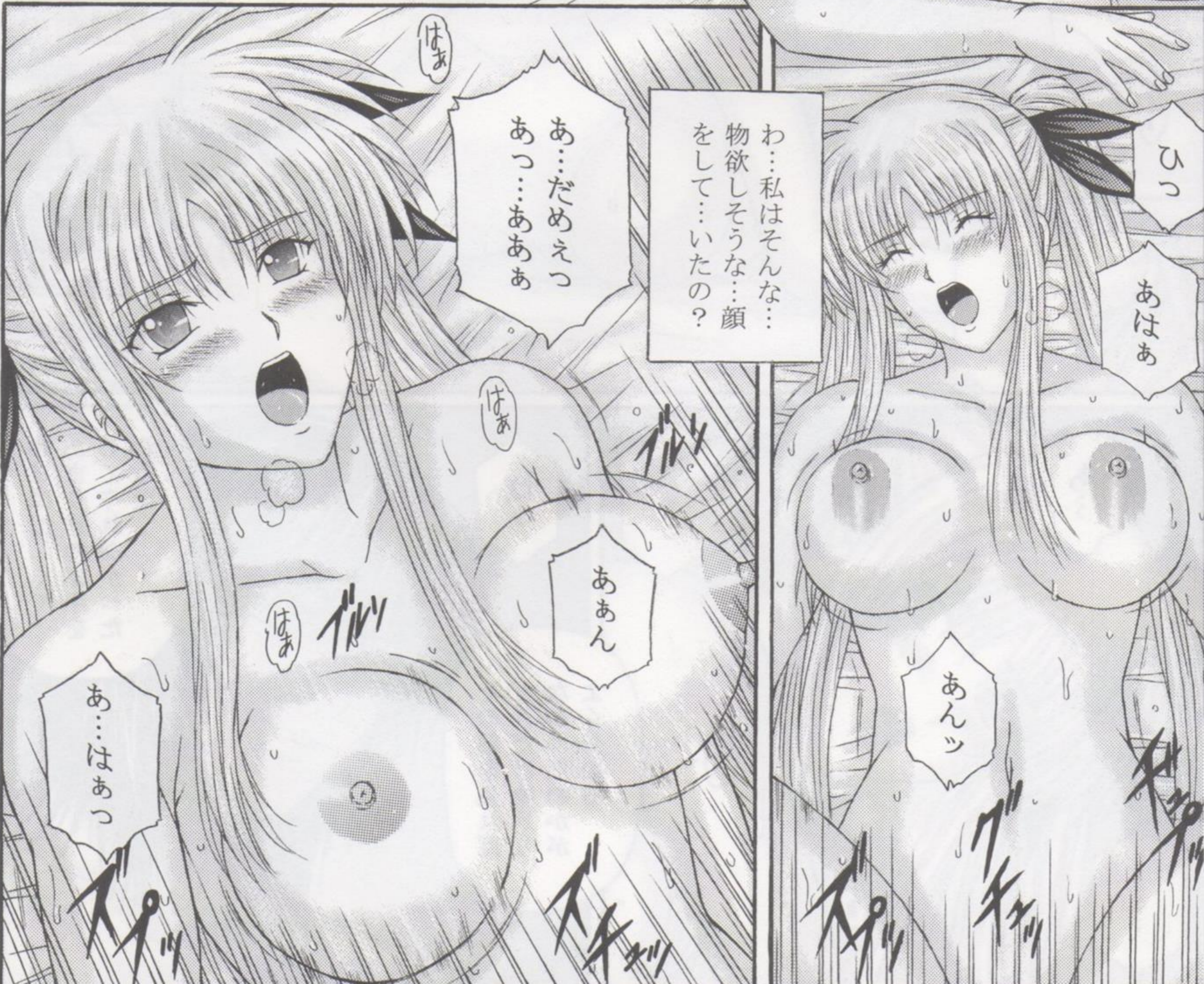
そっ／＼ぁん

はぁ…

あぁぁっ

あう

心配するな…
今日はたっぷりと
可愛がつてやろう
じゃないか…



はぁ

あぁだめえっ
あっ…あぁあ

わ…私はそんな…
物欲しそうな…顔
をして…いたの？

はっ

あはぁ

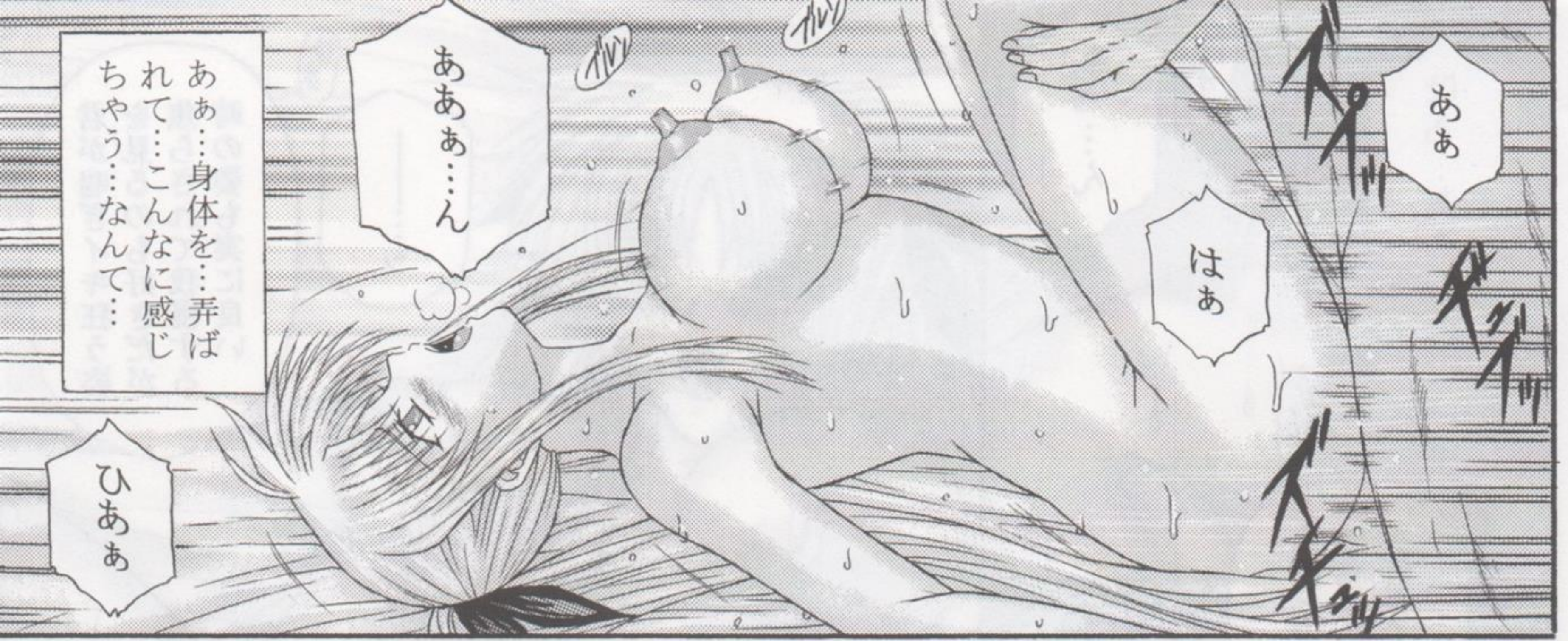
はぁ

あぁん

はぁ

あぁはぁっ

あんっ



ああ

はあ

あああ…ん

ああ…身体を…弄ば
れて…こんな感じ
ちやう…なんて…

ひああ



あん

はあ

ああ…イ…
イクウ…ツ

あっああん

あああッ



またイクのかね？
私を差し置いて
随分と節操無く
イキ続けるものだ

好色下品な
牝奴隷には躰が
必要みたいだな

イ…ちやう…
あ…はあッ

あ…ああッ

君が喘ぎイキ狂う姿
を見るのも好きだが
焦らされて我慢する
時の姿も実に良い

はま
……ッ



……ああ……そんな……
あと……もう少いで
イけそう……なのに……

その早くイかせて
欲しそうな
哀願の眼差し……

あうっ

肉欲に支配されて
落ちていく女は
哀れなものだ

はあ……ああ

あっ……ん

はま



あん

敵であり憎むべき
相手にこうして毎日
玩具にされて悦んで
いるのだから……

この上ない屈辱だ
と思わないかね？
肉奴隷のフェイト
テストロツサ

……んっ



あ……あなたが……
私をこのようにな……
はした……ない女に
したくせに……っ



そう…この私を変えたのだ…凛々しく勇壮な女だった君を淫乱な肉人形にな

憎しみがあるのだろう？…ならば遠慮なくもつと私に恨み言を言うがいい…

そ…そんな事を…言っても…

私が…惨めになるだけよ…

…今の君の心中は怒りや憎しみよりも私に対する服従心や愛情の方が大きい…

何を…言って…

だ…めえ

ああん

ああ…

はあっ

今でも…この男への憎悪は…消えていない…

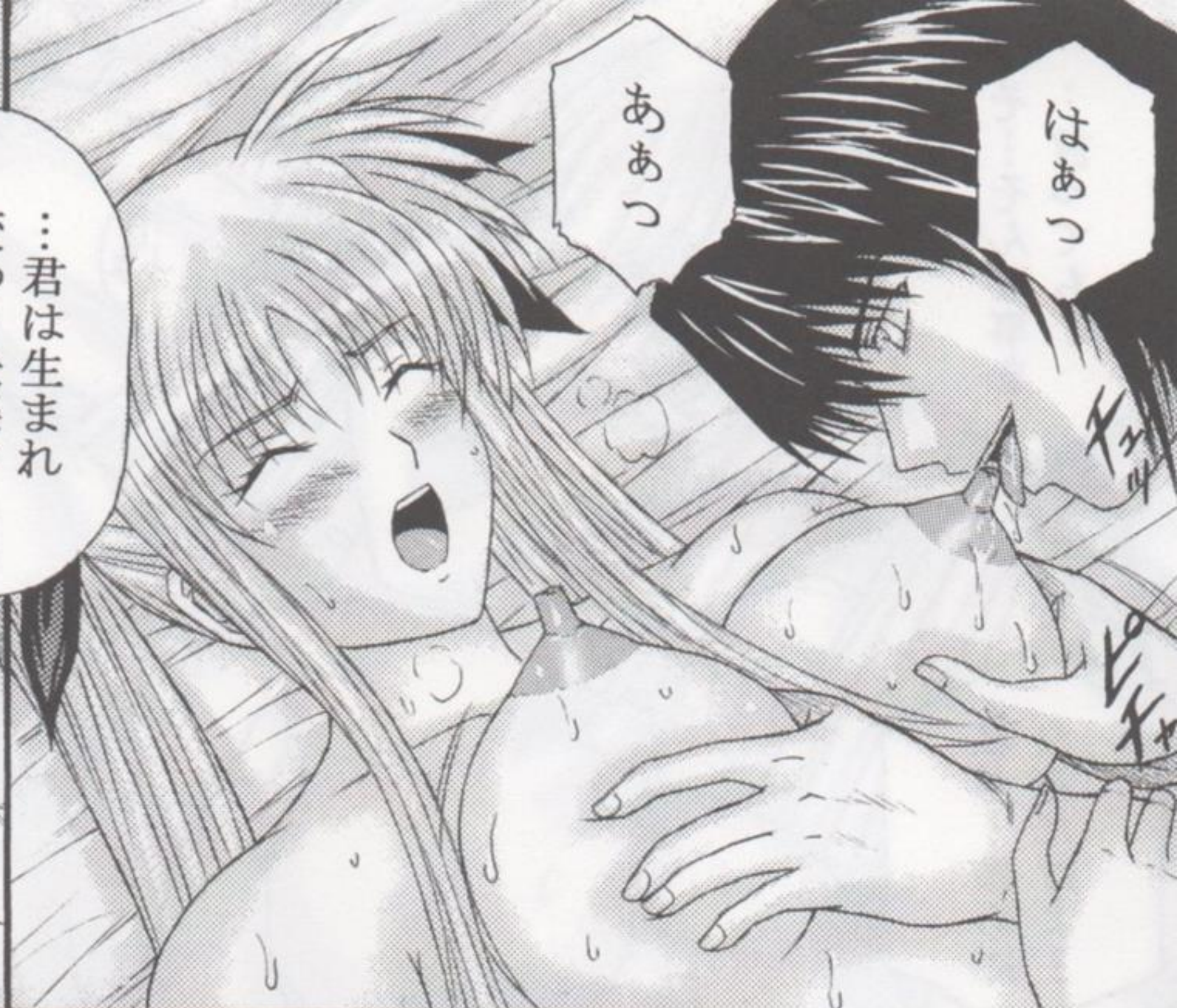
あんっ

…愛情…？
ありえ…ない
そんな感情…っ



：君は生まれ
変わり快樂の
奴隷へと変貌を
遂げた：

あ…あ



ああ

はあ



肉体だけではなく
心も支配されて
私に服従しないと
願っている自分に



こうして私に
乳を揉まれ母乳
を吸われても
嫌悪を感じない

：何度も私と性交
していく内に憎悪
は愛情へと次第に
変化していく：



最近は特にその傾向
が強いな：君からは
敵意を全く感じない

以前なら少しは警戒
していたが今はもう
その必要もない：



はあ

あ…あん

君はもうすぐ
気付くだろう

私に弄ばれる牝奴隷としての立場を受けいれ…私を君の主人として認めつつある

ち…ちがう…っ

私はまだ…

私との性交に溺れ淫欲の虜となっているが

まだ私に心から服従したわけではないか？

…ええ

…まあいいだろう君が私の虜となるのも時間の問題だ

いずれ本性を曝け出し私に媚び諂うようになるだろうから…

あ…あっ…んうそんな…こと絶対に…ない…っ

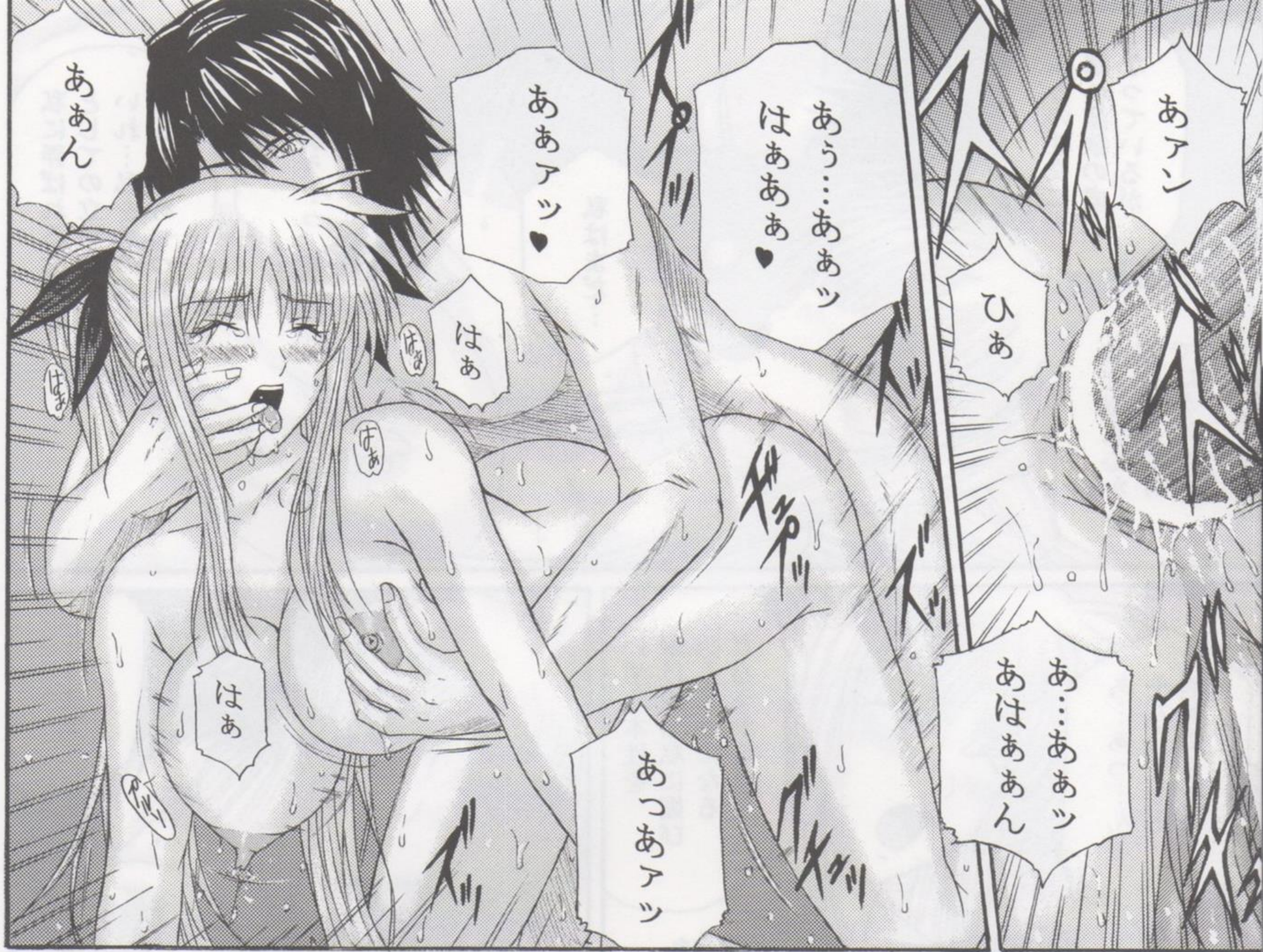
この男の…肉奴隷としてどこまで…堕ちようとも…

その時がくるのを楽しみにしているよ…

…心まで…服従するわけには…っ

あアッ

あんっ



あーっ

あーっ...あーっ
はあああ

あーっ

はあ

ひあ

あ...ああッ
あはああん

あーっ

はあ

ああん



あーっ...

あんっ

いつもここを
掻き回されると
喘ぎ狂い理性が
無くなる

...そ...そ...は
だめ...なのお
おねがい...
ぬる...っ...



んんん

ん...んんん

あはああん

：フエイト
相変わらず君は
アナルを責められ
るのが弱いな...

…あのフェイト
テスタロッサが
今やアナルで喘ぐ
淫乱牝奴隷とは…

はあ…

あぁっ

み…みんな…

あんっ

キョッ

わたし…を

君の無事を祈ってる
仲間達に申し訳ない
と思わないのかね？

いめん…ね

ん…ん

ククク…
君の痴態を是非奴ら
に見せてやりたい…
いったいどんな
反応をするかな…

あっ…あん
そ…んな…

私に弄ばれ乱れ
喘ぐ淫売な姿を
奴らは蔑んだ目で
見るかもしれんな

ああん

あ…はあ

あんっ

い…いやあ…

ああ

はあ

はあ

はあ



あアだめえ
あああ…っ

はあっ



しかし実際
君は本当に淫乱な
牝犬だ…この事実
は否定できまいっ

あっ…ああん
そ…そう…私は
い…淫乱な…

あ…はあっ



あん…すどん
…イイ…ッ
イイのお…♥

あはあ

はあ

はあ

はあっ

あ…あっ

アッ



あうん…ッ
あっ…あはあ

ああん…き
きもち…いい

あアッ

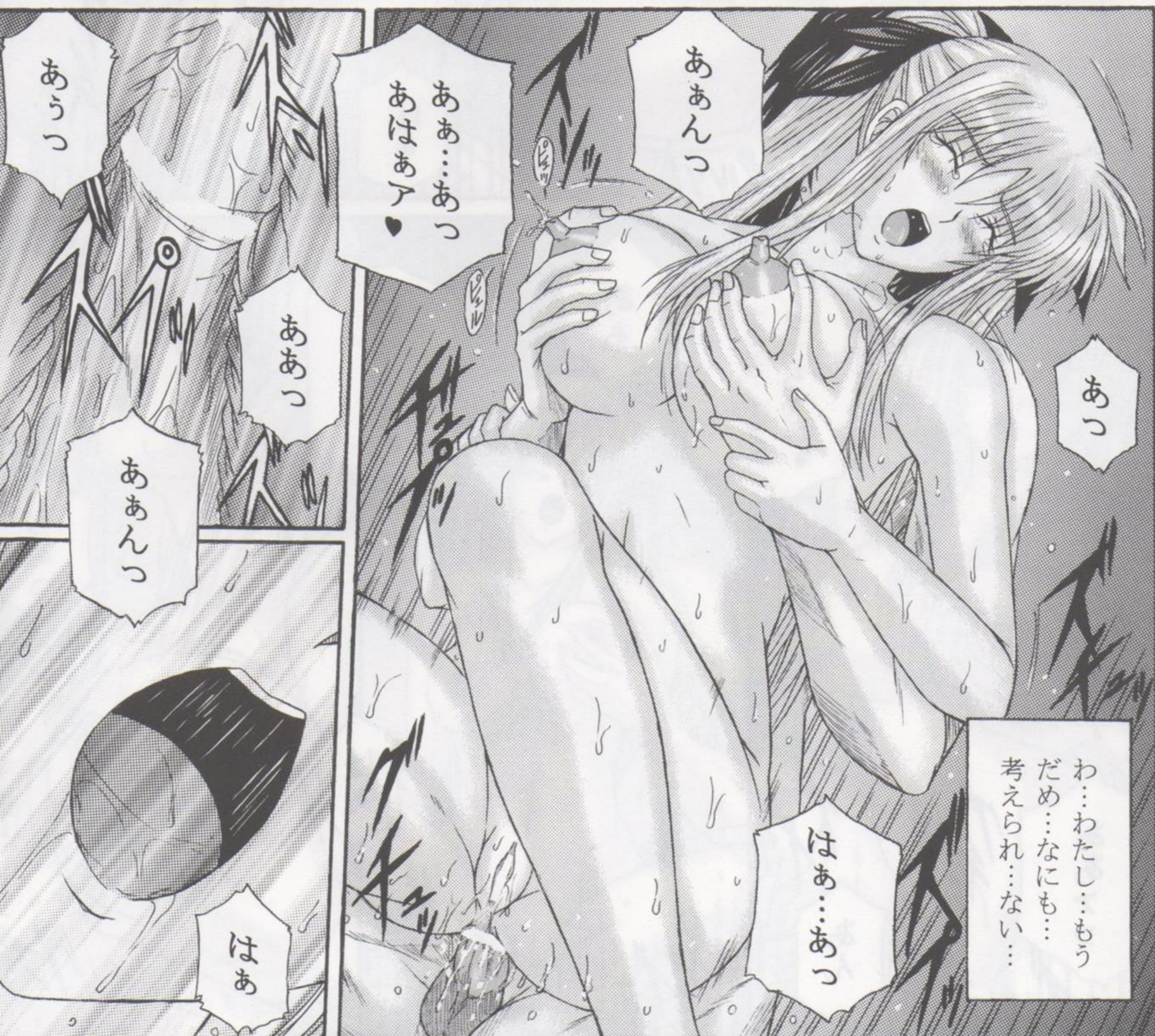
ほらっ気持ちいい
ならもっど
はつきりと口に
出して言うんだっ



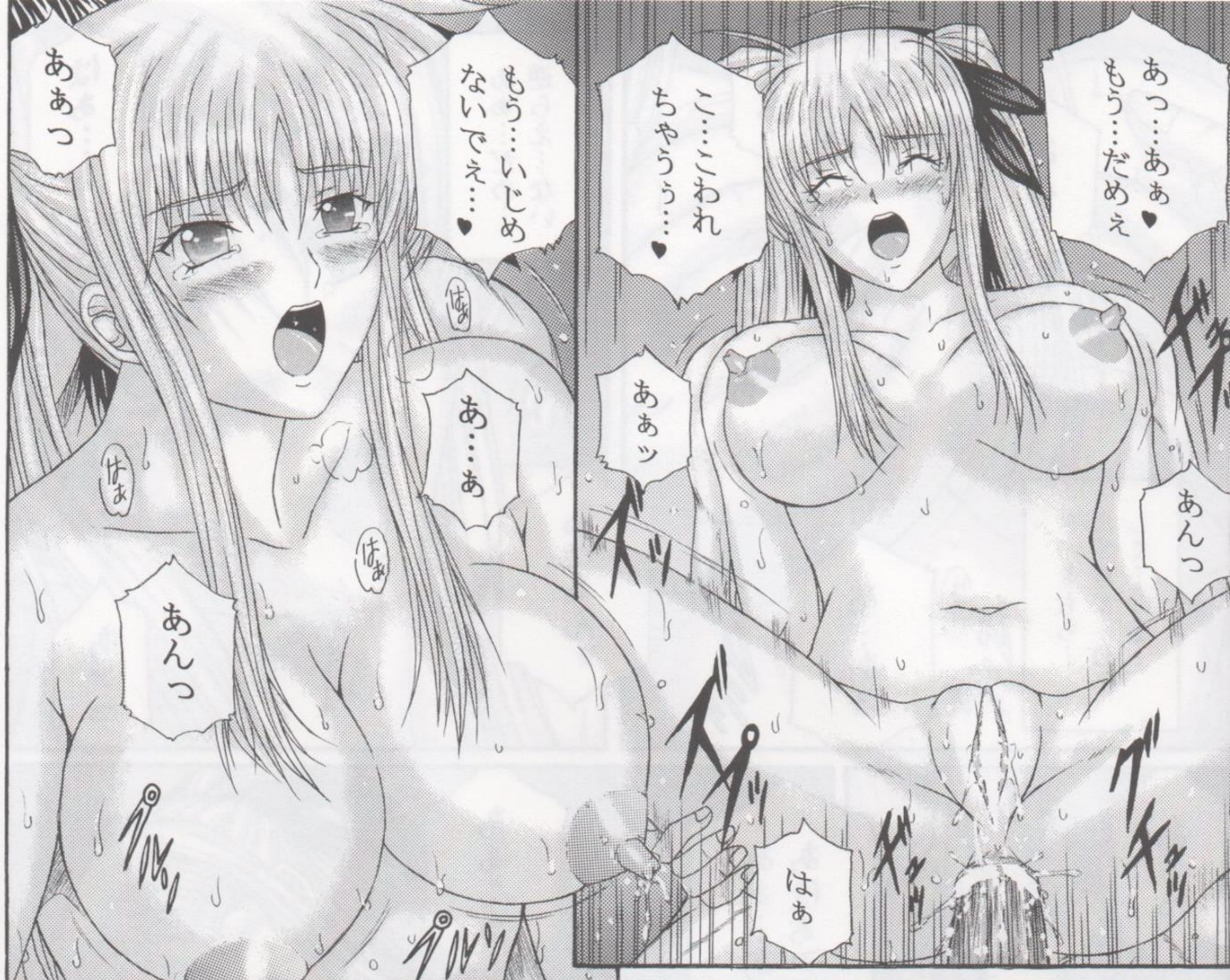
き…きもち…
良すぎて…おかしく…なる…



ああ…だめ…
逆らえ…ない



わ…わたし…もう
だめ…なにも…
考えられ…ない…



あぁっ

もう…いじめ
ないでえ…

…おれ
ちやう…

あっ…ああ
もう…だめえ

はぁ

はぁ

あ…あ

あぁっ

あんっ

あんっ

はぁ



また…イクラ
イっちやう

ああ

あはあん

ひあ…っ

はぁ

はぁ

はぁ

あぁっ

あぁん

あん

はぁ



あ…ああん

イクウ



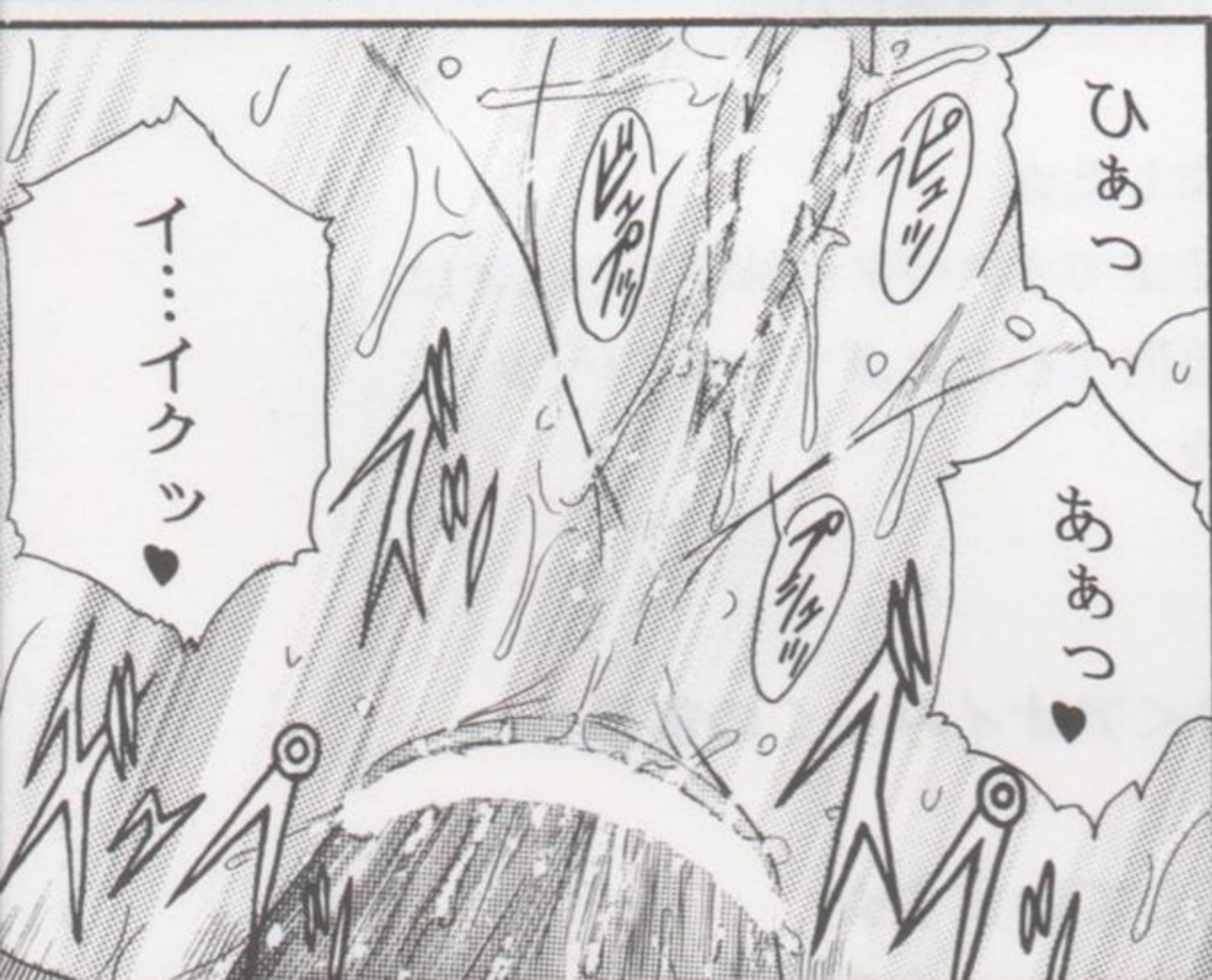
だめえっ

あ…ああん
はああん

あ

あ

はあ



イ…イクツ

ひあ

ああ



あはあ
あああん

ああん

ああん

はあ

☆あとがき☆

淫墮の罌をお買い上げありがとうございますっ！！！！

2年ぶりくらいの新刊となります(～～;)色々忙しくて出すことができませんでした

次はどれくらいかかるんだ？と言われそうですが次こそは是非3ヶ月でっ！！

と言いたいですがどうなることやら…(-_-;)

この淫墮の罌は全2巻の予定ですが今回この1巻が人気無ければ

1巻で終了となります

そのためタイトルに1巻と入れないことにしました☆

次回作についてはタマ姉寝取られ1巻を発行予定です(^^)タマ姉寝取られ本は

制作を凍結していたのでこれでようやく作業再開することができます(^^)!

では次回作も是非宜しくお願い致しますっ！☆

☆新刊などの詳しい情報はFC2ブログの<アオイみっくの部屋>

をご覧ください

こちらのブログで不定期に制作状況を更新しています☆

<http://aoimikku2.blog70.fc2.com/> アオイみっくの部屋

☆タイトル 淫墮の罌 ☆サークル KUSARI アオイみっく

☆印刷所 サンライズ ☆発効日 2010年 9月1日 2版

☆18歳未満のご購入及びご購入はご遠慮ください。この本の一部及び全部を許可無く無断で複製複写転載する事を禁じます。

☆連絡先 アオイみっくの部屋にあるメールフォームより連絡ください

☆KUSARIの過去作品については同人誌委託販売店のMAGMAG様で在庫ある作品を販売させて頂いておりますのでそちらでご購入下さい

<http://www.magmag.org/>



探陸の長

KUSARI
アオイみっく